

March 26, 2020

【前日の為替概況】ドル円、111.68 円の高値から 111.09 円付近へ反落

25 日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは 3 日続伸。終値は 1.0882 ドルと前営業日 NY 終値 (1.0788 ドル) と比べて 0.0094 ドル程度のユーロ高水準。欧州株や米国株が下げに転じるなど株式市場が不安定な場面では投資家が流動性の高いドルの確保に動いたため、1.0785 ドル付近まで下げた。

「欧州中央銀行 (ECB) は必要なら 2012 年夏に欧州債務危機を受けて創設した無制限の債券買い入れ策 (OMT) 発動に幅広い支持を得た」との報道が伝わると、ユーロを買う動きが活発化し、1.0894 ドルまで上値を伸ばした。ダウ平均が一時 1300 ドル超上昇したことで、ドル資金確保の動きが和らいだ。

ドル円はほぼ横ばい。終値は 111.21 円と前営業日 NY 終値 (111.23 円) と比べて 2 銭程度のドル安水準。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大への不安を背景とした「資産の現金化」によるドル買いは根強く、111.68 円と日通し高値を付けたものの、前日の高値 111.71 円がレジスタンスとして意識されると伸び悩んだ。ECB が必要に応じた OMT 発動を示唆したことやダウ平均の続伸を受けて、ドル需給ひっ迫への警戒感が後退したことも円買い・ドル売りを誘い 111.09 円付近まで下押しした。

投資家心理を測る指標である米株の変動性指数 (VIX、恐怖指数) は 60 を超えており、投資家の先行き不安は払しょくされているとは言えない状況だ。

ユーロ円は 5 日続伸。終値は 121.02 円と前営業日 NY 終値 (119.99 円) と比べて 1 円 03 銭程度のユーロ高水準。ダウ平均の上昇で投資家の過度なリスク回避姿勢が後退し円売り・ユーロ買いが優勢となった。ECB が必要に応じた OMT 発動を示唆したこともユーロ買いを促し、一時 121.15 円と日通し高値を付けた。

WTI 原油先物価格の上昇を受けて、産油国通貨は買いが優勢となった。ノルウェークローネは対ドルで 10.6826 クローネ、対円で 10.41 円と高値を付け、メキシコペソも対ドルで 23.8571 ペソ、対円で 4.66 円と日通し高値を更新。カナダドルも対米ドルで 1.4179 カナダドル、対円で 78.48 円まで上昇。

【本日の東京為替見通し】ドル円、3 月期末に向けたレパトリで上値が重い展開か

本日の東京市場のドル円は、世界的な株式市場の反発を受けたリスク選好地合いでドル選好地合いが後退していることで、3 月期末決算に向けたレパトリエーション (国外滞留資金の本国環流) 上値を抑える展開が予想される。本日は、米議会での 2 兆ドル規模のコロナ景気対策法案の成立を待つ展開となる。

ドル円は 2 月 24 日の高値から、新型コロナウイルス「COVID-19」感染拡大を受けたリスク回避のドル売り・円買いで 101.19 円まで下落後、世界的な資産市場の下落を受けた約 12 兆ドルのマーゲン・コール (追証) によるドル争奪戦により、3 月 24 日に 111.71 円まで反発している。そして、世界的な資産市場の反発を受けたリスク選好により、ドル選好地合いが後退しており、伸び悩む展開となっている。

ドル円は、3 月期末決算に向けてレパトリエーション (海外投資資金の本国への還流) の円買いが優勢となることで上値が重い展開が予想される。

また、今回のコロナ・ショックによるボルマゲドン (ボラティリティ+アルマゲドン) の相場展開を、2008 年のリーマンショックから検証した場合、「一番底」から「二番底」の可能性に警戒すべきか。

・リーマンショック

2008 年 9 月 29 日：米下院が 7000 億ドルの不良資産救済プログラム TARP) を否決したことで、ダウ平均は史上最大の下げ幅 (▲777.68 ドル) を記録して 10365.45 ドルで引けた。

2008 年 10 月 1 日：上院が修正・可決し、10 月 3 日に下院も可決した。

2008 年 10 月 24 日：恐怖指数 (VIX) が 89.53 の史上最高値まで上昇。

2009 年 3 月 6 日：6469.95 ドルまで続落して「二番底」を付けた。

※非農業部門雇用者数：2008 年 9 月▲46.0 万人⇒2009 年 3 月▲80.0 万人

・コロナショック

2020 年 3 月 18 日：恐怖指数 (VIX) が 85.47 まで上昇した。

2020 年 3 月 22 日：米上院が 2 兆ドル規模のコロナ景気対策の採決を阻害。

2020 年 3 月 23 日：ダウ平均は 18213.65 ドルまで下落「一番底？」

2020 年 3 月 24 日：ダウ平均、景気対策合意観測で過去最大の上げ幅 (+2112.98 ドル)

※非農業部門雇用者数：2020 年 3 月予想▲70.0 万人～+8 万人 (▲はマイナス)

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:50 ◇ 2月企業向けサービス価格指数（予想：前年比 2.2%）
- 08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）
- 未定 ◇ 3月月例経済報告

<海外>

- 09:00 ◎ 1-3 月期シンガポール国内総生産（GDP）速報値（予想：前期比年率▲8.1%）
- 16:00 ◎ 2月英小売売上高（自動車燃料含む、予想：前月比 0.2%/前年比 0.8%）
 - ◎ 英小売売上高（自動車燃料除く、予想：前月比▲0.2%/前年比 1.1%）
- 16:00 ◇ 4月独消費者信頼感指数（Gfk 調査、予想：7.1）
- 16:45 ◇ 3月仏企業景況感指数（予想：97）
- 18:00 ◇ 2月ユーロ圏マネーサプライ M3（予想：前年比 5.2%）
- 18:30 ◇ 2月南アフリカ卸売物価指数（PPI、予想：前月比 0.2%/前年比 4.4%）
- 21:00 ☆ 英中銀金融政策委員会（MPC）、終了後政策金利発表
- 21:00 ☆ MPC 議事要旨
- 21:00 ◇ 2月メキシコ失業率（季節調整前、予想：3.59%）
- 21:30 ☆ 10-12 月期米国内総生産（GDP）確定値（予想：前期比年率 2.1%）
 - ◎ 個人消費（確定値、予想：前期比 1.7%）
 - ◎ コア PCE（確定値、予想：前期比 1.2%）
- 21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数/失業保険継続受給者数（予想：100.0 万件/179.1 万人）
- 27 日 02:00 ◎ 米財務省、7 年債入札
- 20 カ国・地域（G20）首脳、緊急ビデオ会談

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

【前日までの要人発言】

25 日 08:50 日銀金融政策決定会合における主な意見(3月16日分)

「企業金融の円滑確保に万全を期すとともに、金融市場の安定を維持し、企業や家計のコンフィデンス悪化を防止する観点から、金融緩和を強化することが適当」

「今後の金融政策運営については、現在でも残高の増加額年間約 80 兆円をめどまでは長期国債を買入れうるほか、経済・物価情勢によっては臨時会合開催も含めた機動的な対応が可能である」

「当面の優先課題は、潤沢な資金供給、および企業金融面での十分な資金繰り支援」

25 日 09:28 ムニューシン米財務長官

「新型コロナ法案で詳細を詰める作業を続けている」

26 日 00:11 トランプ米大統領

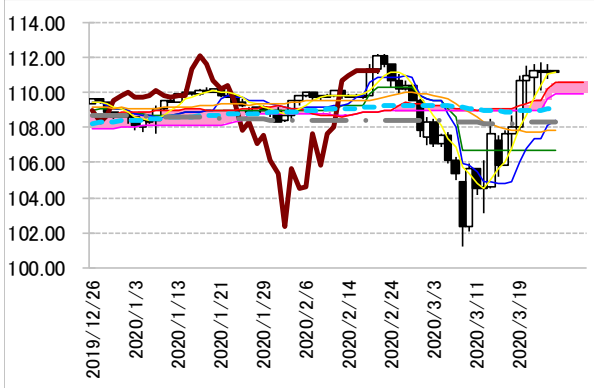
「2021 年にオリンピックを開催するという非常に賢明な決断を下した安倍首相と IOC の判断を祝福。大成功を収めるだろう」

26 日 05:55 クオモ NY 州知事

「NY 州での新型コロナウイルス感染、前日から 5146 人増の 3 万 811 人」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

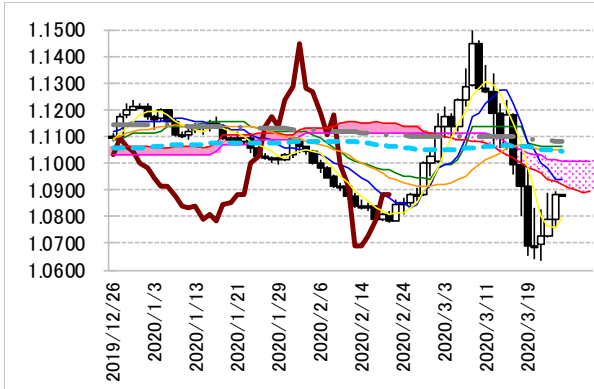


<ドル円=雲の上限を支持に押し目買いスタンス>

小陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を下回り（売りシグナル）、一目・雲の上で引けていることで、買いシグナルが優勢な展開。毛抜き天井（112.23円・112.19円）を上抜けることが出来るか否かに要注目だが、3月24日の高値圏での寄り引線や遅行スパンの逆転は反落の可能性を示唆していることで要警戒か。

本日は、雲の上限を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	112.40(2019/4/24 高値)
レジスタンス 1	112.23(2/20 高値)
前日終値	111.21
サポート 1	110.58(日足一目均衡表・雲の上限)
サポート 2	109.94(日足一目均衡表・雲の下限)

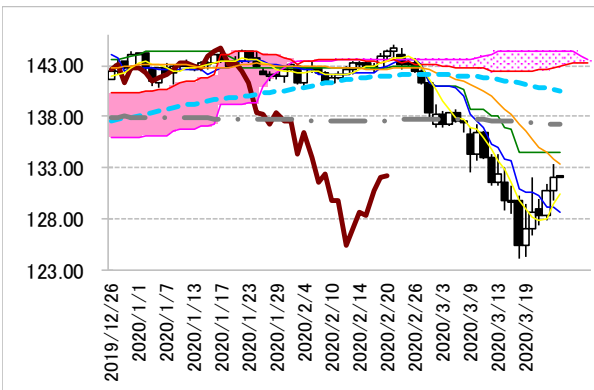


<ユーロドル=3/25 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を上回り（買いシグナル）、一目・雲の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開。しかし、底値圏での3手連続陽線で、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、3月25日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.0937(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.0882
サポート 1	1.0761(3/25 安値)

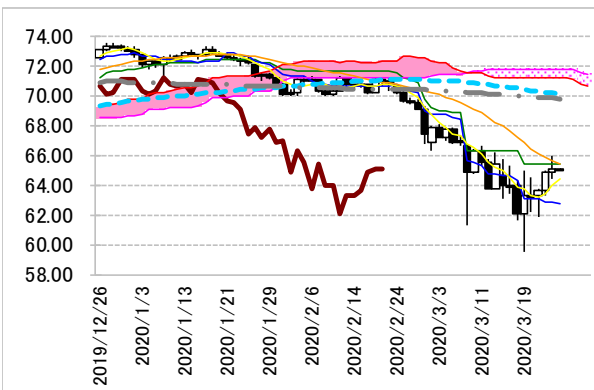


<ポンド円=5日移動平均線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。しかし、2手連続陽線で転換線を上回っており、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、5日移動平均線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	133.40(3/25 高値)
前日終値	132.11
サポート 1	130.45(5日移動平均線)



<NZドル円=5日移動平均線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。底値圏での5手連続陽線で反発しており、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、5日移動平均線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	65.91(3/25 高値)
前日終値	65.05
サポート 1	64.37(5日移動平均線)

